

## 「魅力あるまちづくり支援」

- 1 現状と課題 ○ 銚田市の高齢化率は、全国の平均よりも高く、今後も上昇していくと推計され、地域インフラサービスの低下が危惧されている。市内では、地域の繋がりを大切にしようと、複数地域でフェスティバルやマルシェなどのイベントを実施しているが、若者の参加は少ない。一方、地域活動を望む若者は潜在的に多い。しかし、若者が地域活動への参加について相談できる場が不足していたり、相談先についての認知が低かったりするため、意欲ある若者と地域の活動者が繋がる機会が乏しい。については、若者の地域参画や挑戦を支援し伴走したいと考える住民の支援活動に焦点を当て、魅力あるまちを実現できるプログラムの開発と実践を行う必要がある。
- 2 期待される効果 ○ 既に銚田市や商工会等が主催するイベントにボランティア等で参加している高校生等の若者を中心に、地域の方々を募り、魅力あるまちづくりを目指す「まちづくり支援隊」(以下「支援隊」)を結成、活動に参画することで、市のにぎわいを生み出す事業を展開することができる。  
○ 支援隊が魅力あるまちづくりのために企画したプロジェクトの実現に向け、研修会や活動場所の提供、運営補助を行うことで、多くの若者が集い、地域参画しやすい環境を構築することができる。

### 3 事業実践方法

#### (1) 概要(目的)

- 開発会議を開催し、魅力あるまちづくりに関する課題の選定と共有及び目標を決定する。
- 支援隊の活動内容や具体的な実践方法を決定し、モデルプログラムを作成する。  
・交流会議を設け、若者による魅力あるまちづくりの気運醸成のための手立てを検討し、支援隊の人材募集、魅力あるまちづくりに関わる人材育成及び研修を行う。<sup>※1</sup>
- 開発会議において、実践活動後にモデルプログラムの検証・改善を図る。
- 改善モデルプログラムの具体・検証を行う。(2年目)

※1 魅力あるまちづくりに関わる人材育成及び研修の概要

モデル事業の実践対象	支援隊(銚田市在住・在学・在勤の高校生、銚田リーダーズクラブ <sup>※2</sup> 会員、地域の方等)
支援隊や若者の地域イベント参画体制の構築	・高校生側や若者が企画した内容をイベントに参画して実践する。 ・高校生ボランティアも一緒に参加し運営の一員として、実践する。 ・支援隊と一緒に活動するボランティアをイベント毎に募る。
実践場所	・支援隊及びボランティア参加者が市内イベント等へ出向き活動する。

※2 銚田市在住または在学の高校生で組織するボランティア団体

#### (2) 対象者

令和5・6年度課題解決チャレンジ事業開発委員 10名程度  
 銚田市役所政策企画部まちづくり推進課  
 銚田市役所教育部生涯学習課  
 まちづくり支援隊(事業協力者)  
 銚田市在住・在学・在勤でボランティアに興味のある方  
 銚田市高校生ボランティア(銚田リーダーズクラブ)

#### (3) 委員構成

所属	役職等
銚田市政策企画部 まちづくり推進課	係長
茨城県立銚田第一高等学校	第2学年主任、第2学年担任
茨城県立銚田第一高等学校附属中学校	第2学年主任(R6)、第2学年担任
社会福祉法人銚田市社会福祉協議会 銚田本所(R5)	担当職員
銚田市政策企画部 まちづくり推進課(R5)	係長
カフェ&コミュニティスペース ぱれっとらいふ	店長、音楽療法士
本事業対象市在住・在勤者	令和3・4年度課題解決チャレンジ協力者
一般社団法人 recharc (R6)	代表理事、理事

※銚田リーダーズクラブ(高校生会)も開発会議等に参加のため、銚田市生涯学習課社会教育主事もその都度参加。

## (4) 具体的な取組内容

## ① 会議・交流会等

期日	内容	出席者等
令和5年 6月11日(日)	○開発会議① →「魅力あるまちづくりに向けた構想の共有①」 ・課題選定と共有及び目標の決定 ・課題解決のためのテーマ及びゴール設定の意見交換 ・講師の選定について(地域の人材を活用する)	・開発委員協力者 6人
6月29日(木)	○開発会議② →「魅力あるまちづくりに向けた構想の共有②」 ・調査結果分析 ・課題解決のためのテーマ及びゴールの設定 ・モデルプログラムの内容を検討	・開発委員協力者 6人
7月21日(金)	○開発会議③ →「モデルプログラムの開発における検討会」 ・モデルプログラムを開発するための検討及び活動の名称を『ちよいボラ』に仮決定 ・実践前の日程調整及びモデルプログラム内容の確認	・開発委員協力者及び銚田市高校生ボランティア 17人
8月22日(火)	○開発会議④ →「モデルプログラムの実践に向けて」 ・モデルプログラム『ちよいボラ』の実践に向けたリーダーズクラブと支援隊による共有事項の確認 ・祭り会場でのブース設営上の配慮について 等	・開発委員協力者及び銚田市高校生ボランティア 17人
8月27日(日)	○開発会議⑤ →「モデルプログラム実施直後の情報共有」 ・同日に短時間の研修を実施したことの効果について ・次年度に向けた改善点について 等	・開発委員協力者及び銚田市高校生ボランティア 15人
令和6年 2月14日(水)	○開発会議⑥ →「本年度の活動と次年度の実践計画についての意見交換及び活動報告」 ・モデルプログラム『ちよいボラ』の検証 ・次年度に向けた改善点について 等	・開発委員協力者 7人
2月19日(月)	○開発会議⑦ →「リーダーズクラブと支援隊による交流について」 ・次年度の実践計画について ・リーダーズクラブが参画できる活動及び一緒に楽しむ交流会に向けた意見出し 等	・開発委員協力者及び銚田市高校生ボランティア 12人
6月6日(木)	○開発会議⑧ →「魅力あるまちづくりに向けた構想の共有③」 ・新リーダーズクラブ会員と支援隊の顔合わせ ・リーダーズクラブと支援隊(大人)の連携について	・開発委員協力者及び銚田市高校生ボランティア 11人
6月14日(金)	○開発会議⑨ →「支援隊の活動PRについて」 ・「銚田第一高等学校『山王祭』展示ブース」の運営について ・展示物について(これまでの活動経緯のスライド等)	・開発委員協力者及び銚田第一高等学校教諭 5人
7月9日(火)	○開発会議⑩ →「改善モデルプログラムの実践に向けて」 ・『ちよいボラR6』の実践に向けたリーダーズクラブと支援隊による共有事項の確認 ・祭り会場でのブース設営上の配慮について 等	・開発委員協力者、銚田市高校生ボランティア 13人

10月2日(水)	○交流会議① →「若者の地域参画を促す研修会の実施について」 ・地域防災とまちづくりについて ・避難所運営ゲーム(HUG)の実施	・銚田市高校生ボランティア、銚田第一高等学校生徒 9人
令和7年 2月14日(金)	○交流会議② →「2年間の取組成果と今後の活動について」 ・事業のまとめ、振り返り(報告会) ・今後の活動について	・開発委員協力者 8人

<実施にあたり、工夫した点や留意した点等>

- 参加者の負担増にならないように、銚田市内での会場を中心に日程調整を行った。特に、リーダーズクラブとの交流会については所管する銚田市教育部生涯学習課と調整を図り、支援隊への参加を呼びかけた。
- 2年目は、支援隊が窓口になったこともあり、積極的にリーダーズクラブとの会議に参加し、意見交換を行っていた。また、関連する高等学校との相談や打合せ等が増え、新規活動への意欲を高めることができた。
- 委員や支援隊の参集がしやすくなるよう、会議開始時間を18時以降に設定した。

② 研修・ワークショップ・講座等

期日	内容	対象者
令和5年 7月23日(日)	○スキルアップ研修 →「イベントブース出展の注意点と利用者への対応について」 講師：銚田市政策企画部まちづくり推進課 係長 新堀靖氏 ・ボランティア活動を通したまちづくりイベントについて ・簡易テント開閉の研修及び設置について ・来場者に合わせた交流の方法と困った時の対応について 等	・課題解決チャレンジ事業開発委員及びまちづくり支援隊、銚田市中高校生(カフェプロジェクト参画者) 14人
8月26日(土)	○スキルアップ研修 →「イベントブース出展の注意点と利用者への対応について」 講師：センター社会教育主事 ・ボランティア活動を通したまちづくりへの参画について	・令和5年度課題解決チャレンジ事業開発委員及びまちづくり支援隊、銚田市在住・在学・在勤でボランティアに興味のある方、銚田市高校生ボランティア 26人 <sup>※1</sup>
8月27日(日)	・祭り終了時の「路上ゴミ」解消の意義について ・来場者に合わせた対応と困った時の対応について 等	
令和6年 8月23日(金)	○スキルアップ研修 <sup>※2</sup> →「イベントブース出展の注意点とボランティア参加者への対応について」 講師：垣内ゆかり氏(社会教育士)、センター社会教育主事 ・『ちょいボラR6』に参加する若者と地域の大人との繋がりづくりについて	・令和5・6年度課題解決チャレンジ事業開発委員及びまちづくり支援隊、銚田市在住・在学・在勤でボランティアに興味のある方、銚田市高校生ボランティア 37人 <sup>※3</sup>
8月24日(土)	・来場者に合わせた対応と困った時の対応について 等	
8月25日(日)	・来場者に合わせた対応と困った時の対応について 等	

<実施にあたり、工夫した点や留意した点等>

- 支援隊が地域のイベントやマルシェに参画できるかについて調査をし、リーダーズクラブや高等学校に提案し、若者の参加者増を図った。
- 1年目に夏祭りの歴史等をもっと知っていたら、参画する人材の育成に繋がるのではないかと提案があり、体験活動(山車を引く体験、獅子の成り立ちや伝統芸能について)を取り入れた研修とした。
- 研修を行う際に、複数回招集することが難しいため、実践日当日に同日開催の計画を設定した。

※1 令和5年8月26日(土)・27日(日)のいずれかのスキルアップ研修に参加した人数

※2 地域の祭りを題材に、鹿行地区の高校生や一般の方が、自分の関わりある地域を見つめ、実践活動を行うための研修内容を追加

※3 令和6年8月23日(金)～25日(日)のいずれかのスキルアップ研修に参加した人数

③ 実践

期日	内容	対象者
令和5年 7月23日(日)	○モデルプログラム①【開発】 → 銚田一高生徒による「カフェプロジェクト」の支援 ■「カフェプロジェクト」の内容 ・銚田市内の施設にカフェを開設し、人が集い交流する場を提供し、施設の活性化を図る。 ・場所：ほっとパーク銚田	・課題解決チャレンジ事業開発委員、まちづくり支援隊、銚田市在住・在学・在勤でボランティアに興味のある方、銚田市高校生ボランティア 14人

8月26日(土)	○モデルプログラム②【開発】 → 学生による「ちよいボラ」の支援 ■「ちよいボラ」の内容※1 ・銚田市内の祭りにおいて、路上のゴミ問題を解決したい祭本部と、銚田市高校生会(リーダーズクラブ)の実施したい活動が合致し、ちょっとした時間で多くの方がボランティア活動に参加し交流する機会を提供する。また、リーダーズクラブへの加入を呼びかけ、活動の活性化を図る。 ・場所:銚神社夏季例大祭 歩行者専用道路 ・「ちよいボラ」参加者 39人	・課題解決チャレンジ事業開発委員、まちづくり支援隊、銚田市高校生会リーダーズクラブ参画者、ボランティア希望学生、銚神社夏季例大祭本部役員 26人 
8月27日(日)		【R5年度 開発会議「活動の提案・意見出し」】
令和6年 3月3日(日)	○地域イベント「キッチンカーフェス」支援 ・銚田市高校生会が運営するブース(生涯学習スポーツ及びニューススポーツ体験)への支援	・まちづくり支援隊、銚田市高校生会、銚田市在学中高校生
6月2日(日)	○モデルプログラム①【改善】 → 地域イベント「いっぴんマルシェ」のボランティア ・銚田第一高等学校附属中学校生徒が運営するブースへの支援	・まちづくり支援隊、銚田市在学中高校生 7人
6月22日(土)	○山王祭展示ブース運営 ・まちづくり支援隊のPRブースを実施	・まちづくり支援隊 11人
8月24日(土)	○モデルプログラム②【改善】 → 学生と支援隊による「ちよいボラR6」の支援活動 ■「ちよいボラR6」の内容※1 ・銚田市高校生会(リーダーズクラブ)に加え、一般のボランティアも募り、活動した。 ・場所:銚神社夏季例大祭 歩行者専用道路 ・「ちよいボラR6」参加者 82人	・課題解決チャレンジ事業開発委員、まちづくり支援隊、銚田市高校生会リーダーズクラブ参画者、ボランティア希望学生、銚神社夏季例大祭本部役員 (26人)
8月25日(日)		※「モデルプログラム②【改善】」の総参加者 119人
10月14日(月)	○モデルプログラム①【改善】 → 銚田オータムフェスタ参画及び活動支援 ・銚田第一高等学校附属中学校生徒が運営するブースへの支援及び「ちよいボラ」活動支援	・まちづくり支援隊 4人
11月17日(日)	○モデルプログラム①【改善】 → 地域イベント「いっぴんマルシェ」のボランティア ・銚田第一高等学校附属中学校生徒が運営するブースへの支援	・まちづくり支援隊、銚田市在学中高校生、銚田市在住・在学・在勤でボランティアに興味のある方 19人

<実施にあたり、改善した点や留意した点等>

- モデルプログラム①は、地域のイベント(銚田いっぴんマルシェ、オータムフェスタ)にブースを提供してもらい、年間で活動できる場を確保した。
- モデルプログラム②では、事業に参画するボランティア(支援隊やリーダーズクラブ等)とボランティアに興味がある一般の参加者との活動内容を分けて計画した。参画者は、運営を含む2時間の活動、一般の参加者はちょっとした時間でのボランティア活動として1時間のゴミ拾いを設定して実施した。ボランティア登録は、2次元コードを使用し、事前登録と当日祭りに参加している方も気軽に参加できるように当日の運営ブースも設置した。

※1 活動時間割

	16:00~17:00	17:00~18:00	18:00~19:00	19:00~20:00	20:00~20:30
事業協力者 リーダーズクラブ	16:30 集合・研修	← 運営も含め2時間の活動 →			20:15 片付け・解散
ボランティア (学生・一般等)	← 1時間の活動 →				
鹿行生涯職員	16:00 到着				20:30 撤収



【R5年度 マルシェ参加の継続支援】



【R5年度 スキルアップ研修(テント設営)】



【R5年度 地域の活動者とイベントの企画】

## ＜プログラム全体の検証＞

### ○ 課題設定

- ・ 銚田市では、若者が「やってみたい」「やってみようかな」と考えていることについて、気軽に相談し、活動する拠点となる場が地域に不足していることから、若者と地域とのつながりが希薄である。
- 若者の地域参画や挑戦を支援し伴走したいと考える住民の支援活動に焦点を当て、魅力あるまちを実現できるプログラムの開発と実践を行っていく。

### ○ 活動

- ・ 「まちづくり支援隊」の結成
- 銚田市や商工会等が主催するイベントに参画する高校生や地域の方等の若者を募る。
- 銚田市の高中生会(以下「リーダーズクラブ」とまちづくり支援隊(以下「支援隊」)が交流し、魅力あるまちづくりのためのプロジェクト「ちよいボラ」を企画
- ・ 「開発会議」の実施
- 研修した内容をすぐに活用できる機会の設定を提案(研修と実践の同日開催)
- 銚田市内に在籍する中高生とのボランティアの共同実施を提案
- 社会福祉協議会への登録を検討

### ○ 成果

- ・ イベント当日に短時間の研修を実施したことで、ボランティア活動を円滑に実践することができた。
- ・ 「ちよいボラ」のプロジェクトに興味をもつ若者や成人が増え、参加者数が増加するとともに、次年度も実施を希望する声が多かった。
- ・ イベントや祭りに参加した際に、一定時間(1~2時間)ボランティアとして活動できるような受け入れ体制の工夫は、他のイベント等においても活用できる仕組みだった。
- ・ 『ちよいボラ R6』に参加する若者と地域の祭りの運営者が共に学ぶ機会を設けることで、地域の若者と大人が互いに繋がる機会をつくることができた。また、実践を通して、リーダーズクラブ、地域の中高生、支援隊(大人)の連携が円滑に行われるようになってきた。
- ・ 銚田市青少年の主張大会において、「ちよいボラ」の活動について紹介した小学校6年生が、翌年中学生となり、2年目の「ちよいボラR6」に参加するという好循環が起り始めた。
- ・ 中高生においては、身近な地域活動でのボランティアに参加することで、地域の担い手としての意識の変容が見られた。

### ○ 課題

- ・ 魅力あるまちづくりを目指す「まちづくり支援隊」として実践してきた「えーとこお隊」の活動の継続的な実施
- ・ リーダーズクラブや銚田市内の中高生などが主体となって企画した活動を地域において実践し、それを支援隊が支え続けられる「ゆるく」しっかりとした繋がりがづくり

### ○ 今後の展望

- ・ 本センターと支援隊の数名は、令和3年から4年間かけて、地域と連携して高校の探究学習を進めていくことや、地域の活動者と若者を「ツナグ」取組として、定期的にボランティア活動をサポートしてきた経緯がある。令和7年4月に、銚田市社会福祉協議会にボランティア団体『えーとこお隊』として登録する(活動開始は5月より)ため、これまでのように、相談や提案などを行う等、伴走支援を継続していく。
- ・ 銚田市役所、銚田の祭り運営本部や公益財団法人 銚田市健康づくり財団等が、今後も『ちよいボラ』の継続を希望していることから、連携強化を図っていく。